

News Release (2)



【平成 29 年 9 月 21 日 (木) 午後 3 時発表】

▼南丹市立文化博物館秋季特別展 「麻田浩展～小さな絵の世界～」

■概要

麻田浩は南丹市八木町出身の日本画家麻田辨自の二男として、1931年京都市に生まれる。(兄は日本画家・麻田鷹司)

1954年新制作協会展に初入選後、アンフォルメルの影響を受け、アスファルトなどを使った抽象絵画やシュルレアリスム的な作品を発表。1971年からの渡仏を機に、宗教的な精神性を込めた独自の作品を制作、国内外で高い評価を受ける。

2017年は麻田浩没後20年にあたり、この節目の年に初期から晩年までの作品を紹介します。

また、創作活動にあたり、その記録を書き留めた約40冊のノートが現存しており、作品の制作段階や作品に込められた想いを伝えてくれます。

こうした作品以外の資料類など、これまで紹介されることのなかったモチーフ・画材なども含めて、麻田浩の魅力に迫ります。

■開催日時 平成29年9月30日(土)～11月26日(日)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日(ただし、10月9日(月・祝)は開館します。)

■入館料 大人300円、高校大学生200円、小中学生100円

〔20名以上の団体は2割引、各種手帳の所持の方及び介添え人1名半額。南丹市内在住の小中学生は無料〕

■ギャラリートーク 平成29年10月14日(土) 午後2時～

ゲスト：浅田 弦(浅田浩 長男)

▼この記事に関するお問い合わせ

南丹市立文化博物館 担当：井尻(電話 0771-68-0081)

平成 29 年度秋季特別展・没後 20 年

hiroshi asada

麻田 浩

～小さな絵の世界～

2017 9/30 sat. - 11/26 sun.

※10月17日より追加展示を行います

開館時間 = 午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

休 館 日 = 毎週月曜日 (10月9日 [祝]は開館)

入 館 料 = 大人 300 円 / 学生 (高校生以上) 200 円 / 小人 100 円

※幼児および南丹市内在住・在校の小・中学生は無料 ※20名以上の団体は2割引
※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳・戦傷病者手帳を持つ方とその介護者は半額

「ギャラリートーク」(展示会関連事業)

10月14日 14:00～ / ゲスト: 麻田弦氏(麻田浩氏長男)

同時期開催「没後20年 麻田浩展…静謐なる楽園の廃墟」

会期: 2017年9月28日(木)～11月19日(日)

会場: 練馬区立美術館(東京都練馬区貫井 1-36-16 / TEL: 03-3577-1821)

南丹市立文化博物館

〒622-0004 京都府南丹市園部町小桜町63番地 / TEL: 0771(68)0081 FAX: 0771(63)2983

平成 29 年度秋季特別展・没後 20 年

麻田 浩

～小さな絵の世界～

麻田浩は、南丹市八木町出身の日本画家・麻田辨自の二男（長男は日本画家の麻田鷹司）として、1931年に京都市で生まれました。1954年、同志社大学在学中に新制作協会展で初入選、当時はアンフォルメルの影響を受け、抽象絵画やシュルレアリスムなどの作品を中心に制作を行っていました。その後、1971年の渡仏を機に、宗教的な精神性を込めた作品を制作するようになると、国内外から高い評価を得ました。1982年には帰国、京都にアトリエを構え、京都市立芸術大学の教授を務め創作活動を続けましたが、65歳の時に自ら命を絶しました。2017年は、麻田の没後20年という節目の年にあたります。

画家は所属する団体展などの大きな展覧会に一般的に大作とよばれる大きな作品を出品することが多く、麻田も油絵の大作を自身の大きな柱に据えて創作活動を行っていました。しかし、大作ばかりを描いたわけではなく、人々が手に入れやすい小さな画も手がけました。本展では、麻田の中・小の油彩画から銅版画、ドローイングなどを紹介します。また、創作活動を記したノートのほか、画材やモチーフなどの展示も行います。画家・麻田浩が作品に込めた想いや制作当時の心境などにも触れ、改めて麻田の魅力を感じていただければ幸いです。



【交通案内】◆自動車…京都縦貫自動車道「園部IC」もしくは「八木西IC」より約5分。
◆電車・バス…JR 園部駅西口より京阪京都交通バス「八田線」もしくは「園部線」に乗車、「交流会館前」下車すぐ。または、市営ぐるりんバスに乗車、「図書館前」下車すぐ。徒歩の場合は駅から約30分。

南丹市立文化博物館

〒622-0004 京都府南丹市園部町小椋町63番地 / TEL: 0771 (68) 0081 FAX: 0771 (63) 2983

【掲載図版】<表面(上段左から)>「水滴風景」1970年 / 「休息」1980年(当館蔵) / 「空と野」1971年頃 / 「石の上の漂流物の如く」1983年 / 「赤い風景の中」1971年 / 「沈黙」1979年 <裏面>①「緑の地」1980年 / ②「風景」1970年頃 / ③「イメージ・樹」1992年 / ④「女」1971年 / ⑤「三つの元素」1980年 / ⑥「パンジー」制作年不明 / ⑦「北山杉」1986年(京都府蔵) / ⑧「横井時雄肖像画」1993年(同志社大学蔵) ※所蔵者名の記載がないものはすべて個人蔵